

三浦一馬 — バンドネオン
宮田大 — チェロ
上野耕平 — サクソフォン
大萩康司 — ギター
山中惇史 — ピアノ

オール・ピアソラ・プログラム

ニュー・イヤー・コンサート2023 ピアソラ・ザ・ファイナル

NEW YEAR CONCERT 2023 PIAZZOLLA THE FINAL
14:00, SUNDAY, 15TH, JANUARY, 2023 ISAAC STERN HALL

2023/1/15 日 13:15開場
14:00開演

メディキット県民文化センター | 宮崎県立芸術劇場
アイザックスターンホール

主催・問合せ◎公益財団法人宮崎県立芸術劇場 0985-28-3208

助成◎文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) / 独立行政法人日本芸術文化振興会

宮崎県立芸術劇場 MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER 文化庁

NEW YEAR CONCERT 2023 PIAZZOLLA THE FINAL IN ISAAC STERN HALL



チケット料金 | ()内はくれっしえんど倶楽部会員価格

全席指定・前売価格

一般:4,000円(3,600円)

U25割:2,000円 | 鑑賞時25歳以下

チケット発売

くれっしえんど倶楽部会員:10月2日(日)

一般:10月9日(日)

チケット取り扱い

・メディキット県民文化センター チケットセンター

0985-28-7766

窓口・電話受付▶10:00~18:30(月曜休館)

※月曜が祝日の場合は翌平日休館

WEB▶劇場HPで24時間予約・購入できます。

・チケットぴあ(webサイトのみ取扱い)

※就学前のお子様のお入場はご遠慮ください。

※車椅子席・介助席は、メディキット県民文化センターチケットセンターのみの取り扱いとなります。

※当日券が出る場合は500円増しとなります(ただしU25割を除く)。販売は当日の午前10時から窓口・電話で行います。

※U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合があります。

本事業は、新型コロナウイルス感染拡大の防止策、感染リスクの低減策を実施いたします。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



2021年9月、クラシック音楽の殿堂・サントリーホールで開催された、一夜限りの夢の競演「ピアソラ・フェス」。コロナ禍の大ホールを満席に埋め、熱狂で覆い尽くした伝説の公演が、ここ宮崎のニュー・イヤー・コンサートに「ピアソラ・ザ・ファイナル」として復活する！

新春に相応しい華やかな祝宴。今をときめく綺羅星の如き、5人のトップ・アーティストたち。

光輝く才能同士が、互いへの信頼を込めて星座のように繋ぐ、豊かな音楽性。そしてピアソラへの深い愛情と尊敬。新しい年はきっと、希望と可能性に満ちて、世界が少し広がる。その希求を信じられる音楽が、ここに、ある。

プログラム

アルトル・ピアソラ

リベルタンゴ

孤独の歳月

ブエノスアイレスの冬

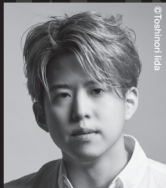
『ファイブ・タンゴ・センセーションズ』より～第5曲「恐怖」

五重奏のためのコンチェルト

ほか

三浦一馬 | バンドネオン、編曲

Kazuma Miura, bandoneon



1990年生まれ、10歳よりバンドネオンを始め、小松亮太に師事。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、自作CDの売上でアルゼンチンに渡航。現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアで開催された

第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。2011年5月には別府アルゲリッチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメツら世界的名手と共演、大きな話題と絶賛を呼んだ。2014年度出光音楽賞を受賞。2017年、自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスツ」を結成。2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソロイスツとしての初音源・最新盤「ブエノスアイレス午前零時」を3月リリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。2021年NHK大河ドラマ「青天を衝け」大河の紀行にてバンドネオン独奏、現在、若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器 Alfred Arnold。

宮田大 | チェロ

Dai Miyata, cello



2009年、ロストロポヴィチ国際チェロコンクールにおいて、日本人として初めて優勝。これまでに参加した全てのコンクールで優勝を果たしている。その圧倒的な演奏は、作曲家や共演者からの支持が厚く、世界的指揮者・小澤征爾にも絶賛され、日本を代表する

チェリストとして国際的な活動を繰り広げている。スイスのジュネーヴ音楽院卒業、ドイツのクロンベルク・アカデミー修了。録音活動も活発で、2021年にヴェールズ弦楽四重奏団、三浦一馬、山中惇史らを迎えた「Piazzolla」をリリース。またトーマス・ダウスゴー指揮、BBCスコッティッシュ交響楽団との共演による「エルガー：チェロ協奏曲」の欧米盤が、欧州のクラシック界における権威のある賞の一つ「OPUS KLASSIK2021」において、コンチェルト部門（チェロ）で受賞。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1698年製A. ストラディヴァリウス「Cholmondeley」である。

上野耕平 | サクソフォーン

Kohei Ueno, saxophone



茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォーンを始め、東京藝術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォーン部門において、史上最年少で第1位ならびに特別大賞を受賞。2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクールにおいて、第2

位を受賞。現地メディアを通じて日本でもそのニュースが話題になる。また、スコットランドにて行われた第16回世界サクソフォーンコンGRESSでは、ソリストとして出場し、世界の大御所たちから大喝采を浴びた。2016年のB→C公演では、全曲無伴奏で挑戦し高評価を得ている。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォーンの可能性を最大限に伝えている。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ演奏活動のみならず、NHK-FM「×(かける)クラシック」のMCやテレビ「題名のない音楽会」「情熱大陸」など、メディアへの出演も多い。サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ばんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。最新アルバムは2019年12月にリリースした「アドルフに告ぐII」。音楽以外にも鉄道と車をよく愛し、深く追求し続けている。昭和音楽大学の非常勤講師。

大萩康司 | ギター

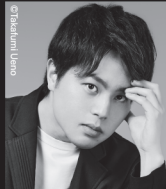
Yasuji Ohagi, guitar



高校卒業後にフランスに渡り、パリのエコール・ノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院で学ぶ。ハバナ国際ギター・コンクール第2位、合わせて審査員特別賞「レオ・ブローウェル賞」を受賞。その後4年間イタリアのキジャーナ音楽院でオスカー・ギリアに師事し、4年連続最優秀ディプロマを取得。これまでにNHK「トップランナー」「スタジオパークからこんにちは」「らららクラシック」やMBS「情熱大陸」、テレビ朝日「題名のない音楽会」等メディアへの出演多数。ラ・フォル・ジュルネ TOKYO、セイジ・オザワ松本フェスティバル等の日本における代表的な音楽祭のほか、モスクワ、コロンビア、台湾等海外の国際フェスティバルにも定期的に招かれている。2020年には演奏活動20周年を迎えた。第6回ホテルオークラ音楽賞、第18回出光音楽賞受賞。洗足学園音楽大学、大阪音楽大学各客員教授。

山中惇史 | ピアノ、作曲・編曲

Atsushi Yamanaka, piano, composition / arrangement



東京藝術大学音楽学部作曲科を経て同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。後に同大学器楽専攻ピアノ科卒業。作曲を髙橋富美子、安良岡章夫、鈴木純明の各氏に師事。第26回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第1位受賞。共演者として

も絶大な信頼を置かれ、上野耕平、漆原啓子、川本嘉子、ピエール・アモイヤル、寺谷千枝子各氏をはじめ国内外のアーティストと共演を重ねる。2020年に高橋優介とのピアノデュオ「176」(アン・セツ・シス)を結成。自らの編曲により第1弾として『レスピーギ/ローマ三部作』を、カワイ出版より楽譜出版。これまでにピアノを森陽子、山泉薫、菊地裕介、白石光隆、安野直子、江口玲の各氏に師事。最新アルバムは「旅と憧れ」(2019)。

交通・託児のご案内

会場のご案内



■宮崎交通バス(橋通方面から)

- A. 「文化公園」行き：終点「文化公園」下車→徒歩1分
- B. 「宮崎神宮」行き：終点「宮崎神宮」下車→徒歩5分
- C. 「国富・綾」「平和ヶ丘」または「古賀総合病院」行き：「文化公園前」下車→徒歩1分
- D. 「平和台」行き：「霧島3丁目」下車→徒歩4分

メディキット県民文化センターには専用の駐車場はありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

■JR日本線

- ・「宮崎駅」からタクシー約10分
- ・「宮崎神宮駅」からタクシー約5分/徒歩20分

■高速道路

- ・宮崎自動車道「宮崎IC」から国道220号を「延岡・宮崎」方面へ車で約20分
- ・東九州自動車道「宮崎西IC」から国道10号を「宮崎市内」方面へ車で約15分

■宮崎空港

- ・タクシー約30分
- ・バス(宮崎市街方面行き「橋3丁目」乗り換え)約40分

■その他(延岡方面から)

- ・車で国道10号を宮崎神宮・平和台方面に向かって南下

託児サービスについて

- ・対象：6か月～12歳まで
- ・料金：お子様おひとりにつき1,000円(税込)
- ・申込先：NPO法人みやざき子ども文化センター (TEL: 080-4694-8686)
- ・問い合わせ時間：月～金(土日祝休み) 10:00～18:00

※申込みは公演日の1週間前までとなります。キャンセルされる場合は公演日の3日前までにご連絡ください。